

みらいは きみたちのてで

三澤洋史

これからおとどけするのは せいしよでゆうめいな ノアのはこぶねのものがたり
でも、そのままやるのではなく げんだいの ぼくたちに いちばんたいせつなテーマを
そこにもりこんだ

にんげんは みんな すこしずつ わがままで じぶんさえよければ ひとはどうなってもいい
とおもって せんそうや テロをおこし うみも だいちも けがし せかいを とてもすみにくく
してしまった この かけがえのない ちきゅうを まもらなければならない

やさしく おもいやりのあるひとたちがつくる すばらしいせかいは がんばればぜったいにできる
そんなねがいを こめて ノアのものがたりは あたらしくなったんだ

かこ げんざい みらいをむすんで ものがたりはすすんでいく

さいごには せかいじゅうのひとたちが やってきて なかよく てをつなぎあう

きみのいっぽが せかいをかえることを しんじてほしい

みらいは きみたちのてに ゆだねられているのだから



〈あらすじ〉

学校から帰った優太のところに、未来から来たジェラルルが現れる。ジェラルルは、過去から未来までずっと地球上の人類を監視している宇宙監視員で、優太を連れ、時空を超えて遠い過去にタイムトラベルする。

そこは太古の国。ノアという善良な農夫は、傷ついた鳩を助けるが、その鳩は神様の遣いパーチェであり、ノアに対して危機が差し迫っていることを告げる。人々の心が荒廃し、みんなが自分勝手になって争いが絶えないこの地は、洪水によって滅ぶ運命にあるというのだ。ノアは、神様のお告げに従って巨大な方舟を作り、そこにいろんな動物を乗せる。そこに予言の通り大洪水が襲い、地上の全てのものを滅ぼしてしまう。でも、ノアの方舟は海の上をゆうゆうと進んで、神様に用意された新しい土地をめざす。

そのありさまをじっと見ていた優太には、実は未来の世界を左右する重大な任務があった。

〈キャスト〉

大森いちえい（バリトン）：ノア（遠い昔の善良な農夫）

前川依子（ソプラノ）：パーチェ（鳩、神様の遣い）

猿谷友規（バリトン）：ジェラルル（未来人、神様に頼まれて過去から未来までを見張る時の番人）

子役（12～14歳）：優太（現代の小学生）

内田もと海（ソプラノ）：ノアの妻

〈会場案内〉

新町文化ホール
(高崎市新町 3190-1)



〈お問い合わせ・チケット取り扱い〉

新町歌劇団事務局

TEL 0274-42-8949/090-9954-1854